

---

# ラクガキ先生

はねうちわ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ラクガキ先生

### 【Zコード】

Z8655C

### 【作者名】

はねうちわ

### 【あらすじ】

素敵に適当が信条のラクガキ先生とその弟子が素敵に適当に生きるを追求する。

## 第1話「我が教え」（前書き）

ラクガキ先生と弟子が織り成すノベルです。  
ジャンルは「適當」

# 第1話「我が教え」

# 『ラクガキ先生』

弟子「はい、先生！――素敵に適当です！――」

テケが半先生一では、問う!!!!!!

卷之二十一

「エケガキ先生、素敵に適当に障子に穴をあけてみた!!」

弟子 はし……！！！」

弟子「やつぱりできません……」

ラクガキ先生「やうんか……」

弟子「できません……」

ラクガキ先生「ならば、こんなもん、いいじや……」

バキッ……

弟子「先生……呂あつた何やつてるんですか……」

ラクガキ先生「お前がくだらぬ物の価値に気を取られたから、取り返しの付かないことになつたんじや……」

バキッ、ボキッ……

弟子「おやめぐだわい……」

ラクガキ先生「やめなえよ、これ……ああ、楽しい……」

「……」

ドカッ、バキ、ベキベキ……

弟子「先生、すこませんでした！……！、もつねやねぐだれ！」

ラクガキ先生「わかつた。」

弟子「おお……なんと適当な辞め方だ……はつー？もしや、先生……？」

ラクガキ先生「素敵だったる……？」

弟子「は、はい……」

続く……！

## 第1話「我が教え」（後書き）

じわじわ来てくれば嬉しい限りです。

## 第2話「出戻しなるといつゝ」（前編）

適當文学シリーズ

## 第2話「甘役にならんぞ」「ハハハ」

ラクガキ先生「弟子よ……」

弟子「はい……」

ラクガキ先生「今日は回転寿司を食べに来て……」

弟子「はい……」

ラクガキ先生「回つておるだらう……？」

弟子「はい、回つてますねー。」

ラクガキ先生「回つてるだらう……」

弟子「（ま、まさか、先生は高級な回せないネタを頼むのか！？）」

ラクガキ先生「イカ」

店員A「はい、イカ入ります！……」

店員B「イカ毎度！……」

ラクガキ先生「うむ……。おい、イカだ！……！」

店員A「はい、イカ追加入ります！……」

店員B「イカ追加毎度！……」

ラクガキ先生「よし、イカくれ！……」

店員A「はい、イカ追加！……」

店員B「イカ追加！……」

弟子「（なつ、なぜ先生は回つてないネタではなく、1番安い皿の回つているイカばかりを、わざわざ握つてもらつているんだ！？）」

「

ラクガキ先生「おい、店員！……！」

店員A「はい！……！」

ラクガキ先生「イカだ！……！」

店員A「はい、イカまた追加！……！」

店員B「へ、へいっ、イカ追加！……！」

ラクガキ先生「イカだああああ……」

店員A「はい、イカ追加ああああ……」

店員B「へいっ、イカ追加ああああ……」

弟子「（先生、やめて、恥ずかし……）」

ラクガキ先生「イクああああ……」

店員A「イクああああ……」

店員B「イクああああ……」

弟子「（先生、みんなこのやり取りを見ている……）」  
かこ（の店員さん達、やれこかめ……まつ、まて……？もしこ……？）

ラクガキ先生「おこいこ、店員……」

店員A「はい……」

ドクン

ドクン

ラクガキ先生「アガリだ……」

店員A「へいっ、あがり（お茶）はセルフサービスになります！」

なぜかその時、僕は拍手した。他のお客様たる所以、つられて拍手をした。

それは、先生にではなく、最後まで先生に、ちゃんとした接客をした店員△こと、社員の石栗雄三さん（34）に向けられた物だ。彼は今、主役になつたのだ。

ラクガキ先生「素敵だろ…？」

弟子「はい…」

つづく

## 第2話「生後となるといつりじり」（後編）

最近、寒いですね。。。

ストーブといつ単語が頭をよぎります。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8655c/>

---

ラクガキ先生

2011年1月16日07時47分発行